千葉大学
先輩職員の声

事 務
～ 副課長 ～

学生支援系

氏名　K・T

所属　学務部教育企画課

職名　副課長・教育改革戦略室長・SULA支援事務室長

平成２０年４月入職　中途採用（学内登用）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始。メールチェック
9：30　教育プログラムに関する打合せ
11：00　学外来訪者対応
12：00　お昼休み
13：30　理事との打合せ
14：30　会議出席
16：00　課内打合せ
17：00　イギリスの大学とのウェブ会議。
終了後、業務終了。

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

教育政策に関わる政府の動向、産業界のニーズや要望のほか、海外の高等教育機関における取組やトレンドについても注視しながら、教育に関する戦略の立案・実施・分析等を中心に、担当係とチームで業務に当たっています。より良い学びの機会を提供できる大学であり続けるため、担当理事、副学長、関係の先生方のご教授のもと、日々勉強、チャレンジです。

Q２. これまでのキャリアを教えてください。

アメリカの大学を卒業後、帰国し、最初の就職先は外資系企業でした。退職後、子供の就学を機に、新たに職を得たのが千葉大学です。当初2年間、非常勤職員として勤めた後、学内登用の制度により常勤職員として採用されました。事務局本部（教育企画課、留学生課）や学部の学務担当等を経験してきたほか、海外出張等を通して海外の大学との連携強化に関する業務にも多く携わっています。

Q３.職場の雰囲気はどのような感じですか？

それぞれが自分の業務に責任を持ってあたっていますが、個々で孤立しているわけではなく、コミュニケーションを多く取りながら仕事をすすめており、相談しやすい雰囲気が保たれるよう皆が努めています。教育企画課は、理事や副学長と接する機会も多い課ですが、執行部の先生方のお考えやお話を聞く機会が普段からあることは、若手の職員にとっても良い刺激になり、モチベーションに繋がっているようです。

Q４.人事交流による他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

海外派遣研修制度に応募し、協定校のアルバータ大学（カナダ）で3か月間、留学生獲得の戦略に関わるチームで仕事をしました。初日に「あなたは私達のために何ができるの？」と言われ、研修＝仕事を習う、という受け身な気持ちを恥じました。新しい環境でも自発的に課題を見極め、積極的に仲間を見つけ、臆せず挑戦する姿勢と勇気を学んだ貴重な経験です。今も事あるごとに思い出し「あの時できたのだから」と自分を奮起しています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

もっと学生の頃に勉強しておけばよかった、と思うことがあります。自分が過去に戻ることはできませんが、これから学修する学生がいつか振り返った時に「学ぶ機会が沢山あって楽しかった。充実していた」と思えるような大学にしたいと思っています。千葉大学を豊かな学びの場にしたいという気持ちのある皆さんと、同じ仲間として働くことを楽しみにしています。

研究支援系

氏名　Y・Y

所属　研究推進部研究推進課

職名　副課長

平成１２年４月入職　中途採用（国家公務員試験）
（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール
8：30　業務開始、メールチェック
9：30　会議出席
10：30　会議終了
12：00　お昼休み
13：30　概算要求資料の確認、修正作業
16：00　研究推進課長と打ち合わせ
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

千葉大学は、「千葉大学ビジョン」（令和3年7月策定）に基づき、令和4年4月に国際高等研究基幹（IAAR）を設置しました。現在、研究推進課では、大学の研究力向上のため千葉大学における世界と伍する先鋭的研究の支援と、中堅・若手研究者を中心とした研究人材の育成に携わっています。また、研究に関わる予算の概算要求なども担当しています。

Q２. これまでのキャリアを教えてください。

大学職員となって20年以上ですが、給与計算業務、契約業務や附属病院再開発業務等を担当しました。今まで担当した業務で印象に残っているのは附属病院における新中央診療棟のオープン（2021年1月）です。病院の根幹とも言える救命救急センター、ICU、手術室や放射線部等が移転しましたが、医師、看護師、医療技術職員など様々な職種の方々と共に仕事をした事は大変貴重な経験となりました。

Q３.千葉大学の魅力は何ですか？

千葉大学は総合大学ですので、「教育」「研究」「診療」と大学職員としての業務も非常に多岐に渡ります。概ね3年ごとに人事異動があり異動するたびに勉強で大変ですが、毎回新鮮な気分でのチャレンジは自分自身のスキルアップに繋がると考えています。また、私が現在配属されている研究推進課では、世界レベルの研究の支援をしており、大学職員として仕事のやりがいが非常にあります。

Q４.人事交流による他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

千葉大学は他機関との人事交流もあり、私自身も佐倉市の国立歴史民俗博物館（歴博）に３年間出向し、博物館の管理運営業務（予算）を担当しました。私が出向の時は大規模な展示室リニューアルに携わることとなりましたが、歴博のプロパー職員だけでなく、文部科学省、千葉県や東京大学など他機関の職員と仕事をするのは自分自身の視野を広げることができたと思います。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学は非常に多くの学生、教職員が所属する日本有数の総合大学であり、大学職員として誇りをもって仕事をすることができます。「つねに、より高きものをめざして」一緒に千葉大学で働くことができることを心から楽しみにしています。千葉大学職員となって、もし学内で私を見かけたら気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

事 務
～ 係長 ～

総務・人事系

氏名　Ｙ・Ｙ

所属　総務部人事課人事給与係

職名　係長

平成１９年９月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　メール確認、依頼事項への対応
9：30　俸給決定・諸手当関係作業
（決裁確認等）
11：00　他部署からの問合せ対応
12：00　昼休み
14：00　制度改正に係る検討
16：00　上司との打ち合わせ
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

現在は、職員の採用や昇任時等における給与決定、ボーナス計算、通勤手当等の各種手当の認定作業の他、退職手当計算も含めた、給与制度全般に係る業務を行っています。本学の給与及び退職手当制度は、国立大学の法人化以降も、多くの部分を国家公務員に準拠した制度設計としていることから、毎年、人事院が国に対して行う給与制度に関する勧告（人事院勧告）を受けた制度改正への対応も所掌しています。

Q２. これまでのキャリアを教えてください。

学務系と人事・総務系を経験していますが、学務系は入職直後の1年半のみで、その後は，附属病院や学部等において人事・総務系業務を行ってきました。その他、内閣府への出向を経験しています。どの職場においても印象深い良い思い出はありましたが、その中でも、出向した２年間は、日本全体の科学技術を考えるという業務スケールと、その際にできた人脈という点において、特に刺激的なものでした。

Q３.出向による他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

出向期間中、同僚であった民間企業等からの出向者から多くのことを学びましたが、彼らに共通していたのは、「将来のキャリアを具体的に描き、そこからのバックキャストで今何をすべきかを考え、そのすべきこと（例えば大学院での学び等）を実践している。」ことでした。よく考えれば、当たり前なのかもしれませんが、近視眼的な思考になっていた自分に気付き、（今後を見据えて）新たな知識を習得するという行動変容の良いきっかけとなりました。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

毎週末（休日）、職場とは違うコミュニティと趣味（オリンピック競技にもなっているカヌースラロームの練習やカヤックでの川下り遊び等）に没頭しています。最近は子どものクラブ活動の応援にも熱が入っているため、家族の行事との調整を行いながらではありますが、時間と家族が許す限りにおいて、心身をリフレッシュさせるために、「非日常の空間」で、「自分の時間を作る」ことを心掛けています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学を取り巻く世の中の状況は厳しく、常に変革することを求められています。そのため、事務職員として、型にはまった前例踏襲の対応だけをしていては通用しません。まさに、本学の理念である「つねに、より高きもの」を目指す思考と行動が必要となっています。是非、我々と一緒に（仕事を楽しみつつ、プライベートも充実させ）より高きものを目指しましょう！

財務系

氏名　T・N

所属　柏の葉地区事務部柏の葉地区事務課会計係

職名　係長

平成２４年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　圃場内機器の修理対応
12：00　お昼休み
14：00　業者との打合せ
15：30　伝票の確認
16：30　部局内会議出席
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

柏の葉キャンパスにおける会計業務（予算編成および執行、決算処理等）のほか、施設管理を行っています。令和５年度からキャンパス隣接地にてラグビースクールジャパンが開校予定であることに伴い、その現場対応も担当しています。

Q２. これまでのキャリアを教えてください。

学内の会計関連部署の他文部科学省研修生として３年間勤務し、最先端の研究活動に触れるとともに社会全体の動きがいかに政策に反映されていくのかを肌で感じることができました。また、当時知り合った様々な人材と日々情報交換を行っています。今後も日常業務だけに捉われず、視野を広げることを意識しながら、大学運営のプロを目指して精進していきたいと思います。

Q３.出向による他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

柏の葉キャンパスは敷地のほとんどが圃場もしくはハウスであるため、一般的に思い浮かべる大学のイメージとは違った牧歌的な雰囲気の中にあります。また、キャンパスで育てられた農作物の販売店が併設されているため、時に購入される方々の励ましをいただきながら、適度に肩の力を抜いて業務に励んでいます。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

共働きの家庭でもあるため、積極的に家事・育児に参加するよう心掛けています。先だっては第二子の誕生に伴い育児休暇を取得しました。馬車馬のごとく家事と育児に追われ四苦八苦するも貴重で充実した日々を過ごすことができ、制度の整備された職場でよかったと改めて実感しました。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学職員には様々な分野の活動を支援する業務をとおして、自分をより魅力的に磨いていけるステージが用意されています。また、毎日の私生活も併せて充実させることのできる環境が用意されているので、是非興味を持ってご応募ください。

研究支援系

氏名　K・K

所属　研究推進部研究推進課研究推進係

職名　係長

平成１２年１０月入職　中途採用（国家公務員試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　理事と打合せ、会議資料作成
12：00　お昼休み
14：00　セミナーの準備
15：00　セミナー開催
16：30　後片付け
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

科学研究費助成事業をはじめとする競争的研究資金公募関連業務、本学の研究者が科研費や主要な競争的研究資金を獲得するための支援や事務手続きを行っています。支援内容としては、科研費セミナーや公募要領等説明会を開催したり、創発的研究支援事業をはじめとする競争的研究資金の採択へ向けて模擬面接を行ったり、研究者同士の意見交換会を開催しています。

Q2. これまでのキャリアを教えてください。

これまで研究推進系の部署に配属されることが多かったのですが、学内だけでなく、文部科学省や日本学術振興会など学外への研修・出向も何度かさせていただきました。外から千葉大学を客観的にみることができ全国に友人・知人ができたことは、私にとって非常に有意義な経験となりました。また、附属病院の研究推進課では、治験・臨床研究やがんゲノム医療など医療の現場の一端に携わることができました。

Q3.入職前の大学職員のイメージと入職後に感じるギャップはありますか？

自分が大学生だったとき、大学職員とは「窓口で学生の対応をする人」であり、どちらかといえば、学務や入試業務が主要な仕事だと感じていました。しかし、実際には、財務や総務、研究推進など、職員は大学を多岐にわたって支えています。私が所属している部署も学生さんと接する機会は殆どありませんが、大学の研究力強化に関わることで千葉大学に貢献できていると感じています。

Q4.人事交流による他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

日本学術振興会では科研費の審査委員選考や審査の検証に関わる業務を行っていましたが、全国の科研費審査の一端に携わることができた経験は、大学での科研費申請や採択率向上への支援業務に活かせていると感じています。また、文部科学省や日本学術振興会などの他機関と大学では、職場の雰囲気や仕事のフローなども違うため、他機関で経験したことを仕事の効率化など日々の業務に今後も活用していけたらと考えています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員といっても千葉大学は総合大学であるため業務内容は多岐にわたっていますし、様々な業務を経験するなかで自分の適性がわかってくるのではないでしょうか。忙しい時期はありますが、困ったことは相談しやすい環境ですし、とても働きやすい職場かと思います。千葉大学で皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

国際交流系

氏名　R・F

所属　学務部留学生課留学生企画係

職名　係長

平成20年4月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

課内の庶務全般や、国際教育センターの庶務、また、留学生向けの日本語科目に関する事務などです。2020年度からグローバル人材育成“ENGINE”プログラムで全員留学を開始し、2030年までに年間3,000名以上の留学生の受入れを目標として掲げる千葉大学において、学生の海外派遣や留学生の受入を担う担当職員や教員を下支えするお仕事です。

Q2. これまでのキャリアを教えてください。

採用後は研究推進課に配属され、その後、文部科学省での研修で、科学技術や留学を通じた国際交流、大学改革を推進する補助金の業務を2年間経験しました。大学に戻り、学長企画室や教育企画課で、大学全体の改革、特に国際化を推進する事業に従事しました。また、国際教養学部のSULA（学務系専門職）として、学生相談や教員と協働して学生支援を行う業務も経験し、約1年間の育休を経て現職に至ります。

Q3. スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

学内外問わず様々な研修等に積極的に参加し、語学や情報研修をはじめ、文部科学省への出向、桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科（修士）、ALPS教育・学修支援専門職養成履修証明プログラムなどを経験してきました。仕事の傍ら大学院で学んだことは本当にハードでしたが、他大学の職員との交流から視野が広がり、気軽に相談できる関係性を築けたことが財産となっています。

Q4.仕事と家庭の両立で心がけていることは何ですか？

仕事と家庭を完璧に両立することはとても難しいので、自分のキャパシティーを超える部分を自覚し、周囲の人にヘルプを求めるようにしています。千葉大学は優しい人、信頼できる同僚が多いので、正直に自分の状況を伝え、必要な業務を進めるためにどのような解決策がとれるのかを考え、上司等に相談しながら仕事をしています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員の醍醐味は、研究や教育を通して社会に貢献する役割の一端を担うことだと思います。よくイメージされるような、学生窓口のような業務は全体の一部でしかなく、単調で細かい書類作業をひたすらこなすことも沢山ありますが、全ての仕事がそこに繋がっていくことを理解し、一緒に取り組んでくれる方が来てくれたらとても嬉しいです。

ある1日のスケジュール

9：15　やよい保育園（学内福利厚生施設）に娘を預ける
9：30　業務開始、メールチェック
10：30　課内職員の勤務時間報告チェック
12：00　お昼当番（窓口に来る留学生の対応）
13：00　お昼休憩（近隣の美味しいパン屋さん巡りなど）
14：00　会議資料の準備
14：30　会議について教員と打ち合わせ
15：30　メールチェック、照会案件の対応
16：15　業務終了
16：30　やよい保育園に娘のお迎え

事 務
～ 主任 ～

総務・人事系

氏名　K・S

所属　亥鼻地区事務部総務課総務第一係

職名　主任

平成２２年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　火葬の事務手続き、書類作成
12：00　お昼休み
13：00　解剖慰霊祭準備
14：30　ご遺骨返還対応
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

医学部の教育・研究のための献体に関わる業務を行っています。生前の登録審査、献体時・火葬時の事務手続きを行うとともに、年に一度の解剖慰霊祭や、献体の広報イベント「献体の集い」の実施・運営、広報誌の作成に取り組んでいます。また、医学部で管理している記念講堂の予約・貸出業務や、医学部の評価に関する業務を行っています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

教育に関わる仕事や国際的な仕事に興味がありました。公務員試験受験を検討している中で、国立大学法人等職員採用試験の存在を知り、千葉大学は、他の大学に比べ、留学生が多く、国際的な取り組みも多く行っていることから、興味を持ちました。また、採用説明会での職員の方の雰囲気がよかったことも志望する動機になりました。

Q３.スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

海外派遣研修へ志願し、3か月間フィンランドの大学で勤務する機会をいただきました。語学力の向上とともに、海外で働くという貴重な経験をすることができました。また、中国語の語学研修で、長期間に渡り、語学学校でマンツーマンでの授業を受ける機会もありました。現在は、業務上あまり海外の方と関わることはありませんが、自主的に触れる機会を作っていきたいです。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

2歳の子どもがいるので、業務終了後はすぐに保育園へ迎えに行き、子どもと過ごす時間を大切にしています。休日も子どもと公園や図書館に行ったり、近くのショッピングモールに行ったり、のんびりと過ごしています。定時退勤や、子どもの急な体調不良で休まないといけないときも、理解のある職場なので、大変感謝しています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員の業務は多岐に渡っており、定期的に異動があるため、学生や保護者の方、教員、地域の方など、様々な立場の方と関わるとともに、新しいことを経験する機会が多くあります。戸惑うこともあるかもしれませんが、日々、色々なことを学び、成長することができる職場です。皆さんと一緒に働ける日が来るのを楽しみにしています。

総務・人事系

氏名　Ｒ・Ｏ

所属　亥鼻地区事務部総務課人事係

職名　主任

平成２７年１１月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　採用者の辞令交付
12：00　お昼休み
13：00　会議の準備
14：30　会議出席
16：00　身分異動の処理
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

亥鼻地区の教員（常勤）の異動手続きに関する業務を担当しております。主な業務は、会議の準備や採用手続きを進める上での書類の準備等を行っています。亥鼻地区には、医学、薬学、看護の他に複数のセンターを擁しており、複数の採用活動を他の係員と協力しながら並行して行います。また、その他の業務として、亥鼻地区の教職員の手当に関する業務や調査関連の業務も行っております。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

多くの学部学科で構成される総合大学として規模が大きいことに魅力とやりがいを感じ、附属病院もあることからさまざまな業務にチャレンジ出来るのではないかと感じたからです。また、千葉大学の就職説明会に参加した際に、採用担当者同士の雰囲気が最も良く感じたことから、長く勤められる職場だと思い、志望しました。

Q３. 現在の配属先ならではの面白さや魅力は何ですか？

亥鼻地区では、公募の段階から事務職員が先生方と強く関わりながら、半年～１年程度の期間をかけて一人の教員を採用します。本学の理念である、「つねにより高きものをめざして」を体現出来る人材を採用するため、一切の妥協を許さない採用活動となり、事務の立場として苦労することもありますが、採用活動を通してよりよい大学作りに貢献出来るという点はとても魅力的だと思います。

Q４.仕事と家庭の両立で心掛けていることは何ですか？

子供に関する行事（入園式や保育参観等）への積極的な参加と妻への育児負担が偏らないよう心掛けています。子供の通院や体調不良により突然休暇を取得する必要がある場合でも千葉大学では、充実した休暇制度（時間単位での休暇や看護休暇）を利用出来る雰囲気や協力体制が整っているので、共働き世帯でも安心して働くことが出来る職場だと思います。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

あなた自身が大学などの教育機関との関わった経験のなかで、「もっとこうだったらいいのに」、「自分ならこうするのに」と思ったことはないでしょうか。その思いを是非千葉大学で実行し、千葉大学の発展に繋げてみませんか。千葉大学では、新規採用者でも、企画提案を行いやすく、主体的に仕事に取り組むことができます。近い将来、皆さんと一緒にお仕事ができることを楽しみにしております。

広報系

氏名　K・F

所属　企画部渉外企画課広報室

職名　主任

平成26年10月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始　新聞などで
　　本日のニュースをチェック
9：00　メールチェック、問合せ対応
10：30　広報戦略について定例ミーティング
12：00　お昼休み
14：00　ウェブサイト更新
15：00　ニュースリリース文案のチェック
16：30　学生の活動について取材同行

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

大学公式ウェブサイトや、公式SNSの運営、取材申し込みへの対応などを行っています。と書くと華やかそうにも思えますが、根回しや調整やリスク管理を一つずつしっかりとこなしていくなどの、地道な積み重ねの部分が日々の業務では多いです。最新の科学ニュースから学生サークルの活躍まで、沢山の教職員や学生に助けられながら、日々本当にいろいろなジャンルの情報を発信できるのが面白いです。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

新卒のときには公務員系の職業につくことは全く想定していなかったのですが、転職を考えるにあたって、資格も経験も持っていない自分にもチャンスがあったのがそもそものきっかけではありました。千葉大学のキャンパスの雰囲気が好きだったのと、教育にしても研究にしても、大きく言えばこの先の未来の基礎になると思えば働くうえでモチベーションになるのでは、と考えて大学職員を志望しました。

Q３.千葉大学に就職して「良かった」と思うことは何ですか？

「様々な挑戦ができる」：職員から新しいことを積極的に提案・実行する機会も多く、渦中のときは大変だけど、やりきったあとは充足感もあります。「安心して働ける」：制度的にも職場の雰囲気的にも、ライフスタイルが変わっても長く働きやすい環境だと思います。あとは…都心からほどよく離れているせいか通勤にストレスをほとんど感じないのは大きなメリットかもしれません。

Q４.職場の雰囲気はどのような感じですか？

千葉大のほどよく自由な雰囲気のせいか、もしくは広報室として関わるせいか、教職員や学生には個性的な人が沢山居て面白いです。周囲で働いている上司や同僚は、困ったときには相談を聞いて、一緒に悩んでくれるので、ピンチや大変な業務のときも心細さはあまり感じません。特にコロナ禍で友人などになかなか会えなかった時期は、他愛ない話ができる職場の雰囲気が本当にありがたかったです。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学職員を目指していただいてありがとうございます！ぜひ採用試験や、採用後、入職後も、千葉大学のどんなところが好きかを沢山言葉にしてみてください。それを実感することで皆さんにとっても頑張る糧になると思いますし、広報室の励みになります。それとぜひ広報誌やウェブサイト、ウェブマガジン、大学グッズなどのご感想もぜひお聞かせください！よろしくお願いします！

財務系

氏名　Ｔ・Ｈ

所属　医学部附属病院管理課用度係

職名　主任

平成２２年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

9：30　業務開始、メールチェック
10：00　大型医療機器の仕様書確認
12：00　お昼休み
13：00　業者との打合せ
14：30　入札
17：00　手術部との打合せ
18：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

医学部附属病院において、ＭＲＩといった大型医療機器や医師が日々使う聴診器といった消耗品など、病院で使用する物品の調達をしています。調達というのは、簡単に説明すると「買い物」という意味で、日々来院される患者の皆様に良質な医療を提供するため、最先端の医療機器の充実という側面から医師や看護師のバックアップをするのが私の仕事です。

Q２. 今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

園芸学部で学生窓口を担当したことです。私が社会人となって初めての仕事で、一番緊張した業務であり、一番楽しかった業務です。単位や進路のこと、彼女と別れてしまったこと、学生と色々な話をしました。私がまだ２０代前半だったこともあり、自分と重ねていたのかもしれません。あの時彼らが悩みぬいた道の先で、充実した日々を送っているのなら、微力ながら役に立てたのかなと思います。

Q３.附属病院で働く面白さは何ですか？

自分の仕事が誰かの役に立っていることを、目に見えて感じることができる点です。業務で院内を巡回していると、自分が調達した機器が使用されている場面に出くわします。ＩＣＵのベッドサイドシステム、ＮＩＣＵ（赤ちゃんのＩＣＵ）の高度閉鎖型保育器、それが誰かの命を繋いでいるのだという実感や責任感みたいなものは、他の職場では中々感じることができないと思います。

Q４.仕事と家庭の両立で心掛けていることは何ですか？

子供と過ごす時間を確保するため、限られた時間内で業務をこなすことはもとより、育児休暇、勤務時間の変更、在宅勤務などを活用しています。家庭の用事で絶対に定時退社をしなければならない等、業務の効率化だけではどうにもならない部分を補完してくれています。また、子供の看護のための休暇が有給とは別に付与されおり、こちらも活用しています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

働くということは人生の根幹をなす大切な要素です。そして、大好きな家族と過ごす時間、気兼ねない友人との時間、それらも人生を形作る大切な要素です。時間というリソースは限られているわけですが、千葉大学のワークライフバランスは一般的な職場と比べてかなり恵まれており、自分の人生を「何に費やすか」を選択できる場所だと感じています。仕事に生きる人、趣味に生きる人、家庭を大事にしたい人、それぞれの個性が調和し支えあっている千葉大学で、一緒に働いてみませんか？

研究支援系

氏名　T・A

所属　亥鼻地区事務部研究推進課研究推進係

職名　主任

平成２５年１月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
10：30　倫理審査申請書類確認
12：00　昼休み
13：00　委員会出席
14：30　メールチェック
16：00　倫理審査申請書類確認
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

亥鼻地区における研究の倫理審査に関する業務を担当しています。倫理審査とは研究開始前に研究計画の科学的妥当性や、倫理的妥当性を審査することです。審査は委員会の先生により実施されますが、事前の申請書類確認や問い合わせ対応、委員会の調整などを担当しています。申請件数が多いため処理が遅れないよう注意し、研究者がスムーズに研究を開始できるよう努めています。

Q２. 今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

以前所属していた部署での学生寮の管理業務です。当時、寮生の退寮が続いていたため退寮者から事情を確認したところ、共用部の使用方法等の面でルールがあまり守られていないことがわかりました。留学生を含め１５０名ほどの寮生がいるため、状況を改善できるか不安もありましたが、寮生一人一人が気持ち良く生活できるよう、寮でのルールの再周知の徹底や対面での直接指導に力を入れました。結果、ルールを守る寮生や協力をしてくれる寮生が増え、退寮者を減らせたことが印象に残っています。

Q３. 業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

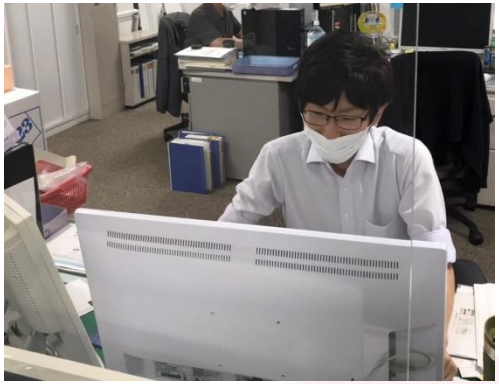
コロナ禍になる前は、業務終了後によく職場の人と食事や飲みに行っていました。ストレス解消になるだけでなく、様々な相談ができることや業務上接点のない方と交流をもつこともできるなど、自分にとっては非常に大切な時間です。

Q４. 入職前の大学職員のイメージと入職後に感じるギャップはありますか？

大学職員と聞くとデスクワークや窓口業務がほとんどというイメージでしたが、実際に働いてみると、学生寮での整備作業や附属病院での患者対応、入試の警備業務、福島への復興ボランティアの引率など多様な業務を行う機会があり、大学職員にはこんな仕事もあるんだなと感じることがあります。多様な業務があるため、日々単調にならず、楽しみながら仕事に取り組めています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

公務員との併願を考えている方も多いのではないでしょうか。公務員になった友人たちの話を聞くと、休日の窓口業務や選挙対応などで休日出勤をすることも少なくないようです。千葉大学では部署にもよりますが、休日出勤を求められるのは入試業務などで年に2.3回程度です。また経験上、繁忙期を除けば有給休暇も比較的取得しやすく、職員で海外旅行に行ったこともあります。これから定年まで何十年と働くため、ライフワークバランスは非常に大切なことです。仕事の内容だけでなく、私生活のことも考えて職を選んでいただければと思います。もちろん千葉大学を選んでいただければ嬉しいです。



医療支援系

氏名　M・H

所属　医学部附属病院医事課医事企画室

職名　主任

平成２２年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

８：３０	業務開始、メールチェック
９：００	査定結果資料作成
１１：００	料金設定に係る打合せ
１２：００	お昼休み
１３：００	審査結果資料作成
１６：００	保険委員会
１７：１５	業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

診療報酬請求の査定結果の集計資料作成を行っています。病院からの診療報酬請求は審査支払機関にて内容が審査され、保険診療の規則で定められた診療報酬額となるよう増点・減点（査定）される項目があり、その結果を取りまとめた資料を作成しています。また、病院独自に料金設定が可能な保険適用外の治療等（例えば、卵巣がんの予防手術や分娩料）の料金案を医師等と調整し規程に定める業務を行っています。

Q２.今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

入試広報業務です。大学説明会で受験生に対し本学の概要を説明した際に、自分の説明を聞いて「千葉大学へ入学出来るように頑張ろうと思います！」と高校生から言ってもらえたことがあり、進路決定という重要な出来事に自分は携わっていると実感出来たという点で印象に残っています。

Q３.仕事と家庭の両立で心がけていることは何ですか？

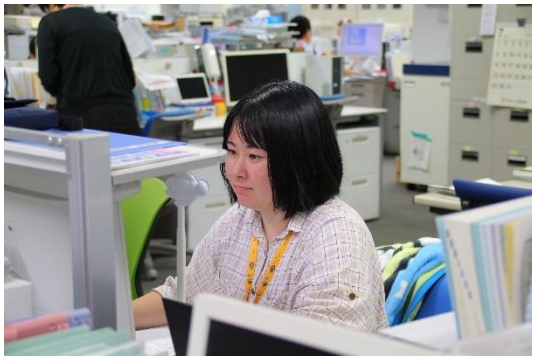
育児中で２歳の子どもの保育園のお迎えがあり、残業が殆ど出来ないため、出産前よりも更に集中して効率よく業務を行うよう心掛けています。また、子どもの体調不良で急に休暇を取ることも多いため（周りの方のご理解もあり休暇は取得しやすい雰囲気です）、自分の担当業務の進捗は他の方にも見える形で残すようにしています。

Q４.附属病院で働く面白さは何ですか？

自分の視野や世界を広げることの出来る点です。病院とは誰もが利用する場所でありながら、働いていなければ知り得ないことが多くある場所です。そのため、日々新しい知識を獲得出来ている実感を持てるところが働いていて面白い点だと思っています。また、幅広い年代の方と接することが出来るため、様々な視点から物を見ることが出来るようになったと思っています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

本学には多くの学部・附属施設があるため、「大学職員」として一般的にイメージされる学生対応業務だけではなく、様々な年代・職種の方と関わる業務があります。また、定期的に異動があるため、多種多様な業務を経験することが出来、折にふれて成長を感じられる職場だと思います。皆さんと一緒に働ける日が来るのを楽しみにしています。



事 務
～ 一般職員 ～

総務・人事系

氏名　T・E

所属　西千葉地区事務部理工系総務課工学系総務係

職名　一般職員

令和２年１月入職　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

理工系総務課工学系総務係では、施設関連業務から国際関連業務に至るまで、幅広い分野の業務に携わっています。その中でも現在は、施設修繕や防災・危機管理、海外大学との交流協定の締結、出張旅費等の庶務をメインとして担当しています。また、所属する教職員が安心して研究や教育に専念できるよう、係で協力しつつ、業務としての枠組みを越えて各種問い合わせへの対応を行っています。

Q２. これまでのキャリアを教えてください。

地方公共団体で働いていたのですが、高等教育に携わりたいという気持ちがあり、学生時代を過ごした本学へ転職しました。最初の配属は附属病院総務課総務係で、総務係としての業務を行いつつ、新型コロナウイルス対策本部事務局の業務も担当しました。当初思い描いていた大学職員像とは少し異なりましたが、スピーディーに幅広い業務をこなす経験ができ、現在の業務にも活かされています。

Q３. 千葉大学に就職して「良かった」と思うことは何ですか？

職場としての本学の良さは、「風通しが良いこと」だと考えます。先輩や上司も話しかけやすい雰囲気で、仕事のことはもちろん、時にはプライベートのことも相談がしやすいと感じています。また、ライフワークバランスが充実しており、自分の業務には責任を持ちつつも、組織として協力しあうことで、仕事とプライベートの両立が図れる点も良いことだと思います。

Q４. お昼休みはどのように過ごされていますか？

昼休みには教職員が大学のグラウンドを使用することができるため、みんなでフットサルをして汗を流しています。普段の業務ではあまり関わりのない先輩方や先生も多数参加されるため、気分転換の場としてだけでなく、貴重なコミュニケーションの場ともなっています。実際に、普段の業務で携わることになった際には、お昼に顔を合わせているため、仕事がしやすいなと実感します。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

公務員と国立大学法人職員を経験した立場からお伝えしたいのは、「国立大学法人職員はおススメです！」という点です。安定した身分や給与体系、ライフワークバランスについては公務員と同等であり、業務内容は（部署にもよりますが）民間企業のような自由さもあり、そんな良いところを兼ねそろえた、魅力的な職場だと感じます。ぜひ、千葉大学職員として皆様と一緒に働けたら嬉しいです。

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　施設関連の問い合わせ対応
10：30　部局間交流協定に関する打合せ
12：00　お昼休み（フットサル）
14：00　清掃業者との打ち合わせ
14：30　教員への取材依頼の調整
15：00　外国人研究者受入の手続き
16：00　出張旅費に関する書類の事務処理
17：00　突発的な施設トラブルへの対応
18：00　業務終了

総務・人事系

氏名　S・K

所属　亥鼻地区事務部総務課人事係

職名　一般職員

平成３０年４月入職　　中途採用（学内登用）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　教授会資料準備
12：00　お昼休み
13：00　特定雇用職員の人事異動手続き
15：00　医学研究院教員審査委員会
16：30　非常勤講師の勤務時間報告準備
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

亥鼻キャンパスに在籍する教職員の人事に関する手続きを行っています。採用や退職、有期雇用職員であれば、契約更新等の事務手続きを行うほか、教員を補充する際に設置される教員審査委員会の運営等を担当し、教員リクルートにおける事務的なバックアップを行っています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

はじめは非常勤職員として千葉大学に採用されました。日々働いている中で、周囲の方々の温かさや、働きやすさを実感することが多くあり、長く勤めたいと思うようになりました。また、総合大学ということで、学生をはじめ教員や研究者、附属病院では医療職の方など様々な人と関わることができ、幅広い業務に携われることは自分の成長にも繋がると思い、採用から1年半ほど経った頃、学内の登用試験にチャレンジしました。

Q３.職場の雰囲気はどのような感じですか？

現在私が所属する亥鼻地区事務部総務課人事係は、係内でそれぞれ業務の担当が分かれていますが、忙しい人がいる場合には、手の空いている人が声をかけヘルプにまわり、また、休暇等で不在にする人がいても、他の人でフォローできる体制ができており、非常にチームワークの良い部署だと日々感じています。時には終業後に係で飲みに行くこともあり、素敵なメンバーと仕事ができて、毎日楽しく出勤しています。

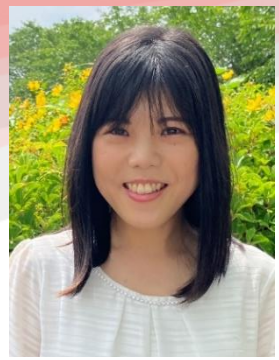
Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

平日の夜には職場の方や友人と飲みに行くことが多いです。これまで交流が無かった方と飲み会の場で知り合うことができたり、仲が深められることもあるので、私にとってはとても有意義な時間だと思っています。休日は好きなアーティストのライブに行ったり、旅行に行ったりしています。美味しいものを求めて出かけるのも大好きなので、友人や家族と計画を立てて出かけています。プライベートの予定のために休暇が取りやすいのもこの職場の大きな魅力だと思います。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学の事務職員は２～３年に一度のスパンで人事異動があります。多種多様な業務から成り立っている大学だからこそ、様々な経験ができるチャンスがあるのもとても魅力だと思います。千葉大学もさらなる発展のため、新しい発想やアイデアを発信できる方を必要としています。ぜひ千葉大学を支える一員として一緒に働けることを楽しみにしています。

企画・評価系



氏名　N・T

所属　企画部企画政策課IR推進事務室

職名　一般職員

令和４年10月入職　　中途採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

9：00　業務開始、メールチェック
9：30　急ぎの業務への対応
10：30　課内打ち合わせ
12：00　お昼休み
13：00　目標管理・評価関係の業務対応
14：30　業者とのオンライン会議
15：30　データ収集・調査関係の業務対応
16：45　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

主に、大学の中期目標・計画の策定管理や、教育をはじめとする大学の諸活動における質保証の仕組み作りなどに携わっています。また、組織改革、政府機関等からの調査、経営判断を支援するためのシステム基盤整備などの業務にも対応しています。業務が多岐に渡るため、主担当となる領域をある程度決めつつも、情報共有や分担しながら、室全体で業務の連動を意識し協力して進めています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

前職の私立大学職員としての経験を活かしつつ、大規模大学ならではの、幅広い教育研究領域における業務に携わりたいと思ったことがきっかけです。千葉大学では、社会や世界的動向を見据えた人材育成、研究力強化に取り組んでいる点も魅力に感じました。加えて、前職では、学校法人経営に関わりを持つ機会が多かったことから、国立大学法人の経営力強化にも関心があり、志望しました。

Q３.職場の雰囲気はどのような感じですか？

現在の配属先では、勤務年数や職位にとらわれず、自由に発言できる雰囲気があります。また、業務の進め方や方向性に悩んだ時は、ディスカッション等を通じて内容をブラッシュアップできるため、チームとして働く一体感もあります。大学経営に直結するような重要な課題を扱う場面もあり、自身の業務が大学にどのように貢献できるのかを意識しやすく、やりがいを感じています。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

現在子育て中ですが、平日は子どもと遊ぶ時間が限られる分、休日は一緒に外出することが多いです。近所の公園、スーパー、近郊の動物園や水族館など、様々な場所に遊びに行っています。最近は育児の悩みがつきませんが、職場に子育て世代の方も多く、話を聞いてもらったり励ましあったりしています。職場の方々の理解とサポートのおかけで、仕事を続けられることに感謝しています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

本学のような大規模大学では、とりわけ、職員が俯瞰的・横断的な視点を持ちながら、人と人、組織と組織をつなぎ、柔軟に物事を動かしていくことが必要だと感じています。現在、職員の働き方や役割の見直しに関する取組みが進行中で、職員が活躍できるフィールドは、これからますます広がっていくと思います。皆さんと一緒に、千葉大学の未来を作っていける日を楽しみにしています。

広報系

氏名　D・I

所属　企画部渉外企画課広報室

職名　一般職員

令和３年４月入職　　中途採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

現在は、千葉大学の研究活動に関する広報に主に携わっています。新しく発表された研究のプレスリリースや、千葉大学の研究を発信しているオウンドメディア「CHIBADAI NEXT」の記事作成のための取材や編集作業をしています。千葉大学で行われている魅力的な研究を多くの方に知ってもらう業務には非常にやりがいを感じます。

Q２.今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

令和3年4月に入職し、亥鼻地区事務部総務課人事係に配属となりました。そこから2年間、亥鼻地区にある各研究院やセンターの教員・研究員の採用に主に携わっていました。人事業務の経験がなかったため不安もありましたが、人事の決定が行われるまでのフローを学べたことは千葉大学という組織を理解することに繋がりました。貴重な経験を積むことができたと感じています。

Q３.千葉大学に就職して「良かった」と思うことは何ですか？

仕事にやりがいをもって取り組むことができる点です。千葉大学に入ってからより強く実感していることですが、千葉大学は教育機関としてだけでなく、研究や地域社会の活性化など、社会に対して本当に多くの役割を持っています。そのため、自分のやっている仕事が最終的に大学や社会に対してどのような影響があるかを想像するとモチベーションがあがります。

Q４.職場の雰囲気はどのような感じですか？

現在所属している広報室は本当に良いチームです。広報室は「よりたくさんの人に千葉大学の魅力を伝える」ことを目指す仕事が中心ですが、そのための方法や企画に答えが決まっているケースは少ないです。正解を探すのは難しいですが、広報室のメンバーは上司も先輩もその答えを一緒になって前向きに考えてくれるので、本当に楽しく仕事ができています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学には、様々なチャレンジをしている学生・教員・職員がいます。これから千葉大学の職員になることを目指してる方には是非千葉大学の取り組みを知っていただき、一緒に働くイメージを作ってもらえたらと思います。そのためにも広報室から千葉大学の良い取り組みを発信していけるように私も頑張ります！（宣伝ですが、千葉大学の魅力的な研究者を紹介しているホームページ「CHIBADAI NEXT」も是非覗いてみてください！）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始　千葉大学に関連する新聞記事のチェック
9：30　教職員からの研究プレスリリース配信依頼への対応
12：00　お昼休み
13：00　「CHIBADAI NEXT」編集会議に参加
15：00　千葉県庁に完成した研究リリースを投げ込み
16：00　記事原稿の校正作業、研究リリースをホームページに掲載する準備

広報系

氏名　Ｒ・Ｙ

所属　医学部附属病院総務課広報係

職名　一般職員

令和２年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　メール及び新聞チェック
10：00　取材に同席
11：00　取材報告書の作成
12：00　お昼休み
13：00　プレスリリースの原稿作成
15：00　パンフレットの取材、写真撮影
16：00　パンフレットの原稿作成
18：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

附属病院の取り組みを、院内・院外に発信しています。院内広報では、ポスターや院内報の作成をしています。院外広報では、報道機関からの取材や記者会見の対応、プレスリリースの作成を行っています。また、患者さんや地域の医療機関に向けて、パンフレット「千葉大学病院のご案内」や「いのはなハーモニー」の作成もしています。原稿作成のため、自ら取材や写真撮影をすることもあります。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

千葉大学に関わる人に、さまざまな支援をしたいと思い、志望しました。私が学生のとき、授業や留学、課外活動、就職活動などで大学からの支援を受け、多方面から学生を支援できる大学職員になりたいと思いました。千葉大学には、教員・学生だけではなく、附属病院もあることから、医療従事者や患者さんも支援できる点が魅力的でした。生まれ育った千葉県で働けることも、決め手の一つでした。

Q３.今の仕事でのやりがいは何ですか？

自分が対応した取材が、メディアに取り上げられることです。取材は、記者から突然電話がかかってきて、早急な対応をお願いされることもあります。院内の関係者に取材内容を説明し、調整をしながら進めるのは大変ですが、とてもやりがいがあります。コロナ禍のテレビ取材のときは、私がテレビカメラの代わりに撮影したこともあり、自分が撮影した映像がテレビに映ったときは、とても嬉しかったです。

Q４.附属病院で働く面白さは何ですか？

普段、自分が病気やけがをして病院に行かないと接することがない医師や看護師、薬剤師などの医療従事者の方々と、関われる機会が多いことです。報道機関からの取材に同席したり、院内報やパンフレット作成のために取材したりするときは、臨床現場で活躍するプロの話を直接聞けるため、非常に貴重な経験ができていると感じています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学では、学生支援のような大学職員らしい仕事はもちろん、私のように「大学職員ってこんなこともするんだ！」と想像もつかなかったような仕事にもチャレンジできます。初めて取り組む仕事でも、周りの先輩や上司が優しく教えてくれますし、研修制度も整っているので、心配はありません。みなさんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています！

財務系

氏名　Y・I

所属　財務部財務企画課決算・財務分析係

職名　一般職員

令和２年１月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　学内からの問合せ対応
12：00　お昼休み
14：00　会議出席
15：00　調書の作成
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

大学全体の財務状況の分析や省庁などから依頼される財務関係の調書対応、財務会計システムの管理、規則に基づいた適切な会計処理が行われるように監査法人や税理士法人とやりとりをしながら学内へのフォローを行っています。また、一番大きな業務として、年度末に大学として公表する決算書類の作成及び消費税の確定申告を担当しています。

Q２. 転職先として千葉大学を選択した決め手はなんですか？

前職ではメーカーで営業職をしており地元である千葉県を離れ生活をしていましたが、将来のことを考え地元で働きたいと思う様になりました。その際、実家からもすぐ近く、幼稚園から中学校まで通ったなじみ深い千葉大学で働くということが一番イメージしやすかったため、お世話になった千葉大学に少しでも貢献をしていきたいと思い、志望しました。

Q３.千葉大学で働く魅力は何ですか？

学生時代の出来事や思い出はその後の人生において大きな影響があると思います。千葉大学は様々な学部を有する総合大学であり、仕事を通じて、多くの学生の皆さんのそのような重要な学生生活に携われるということは、千葉大学で働く大きな魅力だと感じます。また、執務室がキャンパス内にあるため、学生の皆さんの活気が伝わってくることも、他の職種には無い大きな魅力です。

Q４. お昼休みや業務終了後はどのように過ごされていますか？

デスクワーク中心で身体を動かす機会は少ないですが、昼休みには年齢層や部署も様々な教職員でミニサッカーをしてリフレッシュしています。また、本キャンパスがある西千葉駅周辺には飲食店も多く隣の千葉駅には商業施設もたくさんあるため、金曜日には業務終了後に立ち寄り、買い物やテイクアウトをするなどして、仕事だけではない生活を満喫しています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

世の中に数ある職種のなか自分のやりたい仕事を決めることは非常に難しく、就活中に何が正解か分からなくなることもあるかと思います。難しいことは置いておいて、まずは一度キャンパスへいらして雰囲気を感じてみてください。『新しいことにチャレンジできる』『最新のキラキラしたオフィスビルで働きたい！という夢は我慢できる』という方であればきっと千葉大学で充実した毎日を送れると思います。

財務系

氏名　T・K

所属　財務部財務企画課資産管理係

職名　一般職員

令和３年４月入職　　新卒採用（法人試験）
（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール
8：30　業務開始、メールチェック
9：30　会計関連処理、
　　部局からの問い合わせ対応
12：00　お昼休み
14：00　測量業者等との打合せ
15：00　資産・貸付に係る調書の作成
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

大学が所有している固定資産の管理に関わる業務を担当しています。各部局から提出された書類に基づく会計処理のほか、職員宿舎の管理、資産に関わる問い合わせの対応を行っており、規定に準拠した適切かつ円滑な業務が出来るように心がけています。その他、学外機関への資産貸付業務や、敷地内視察といった実地調査も行っております。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

総合大学ということで学部・キャンパスの数が多く、総合病院や附属学校もあることから、多種多様な業務に挑戦でき、色々な経験や成長が出来ると思ったからです。また職員の方々と接した際に、とても親身になって対応していただき、担当者間でも楽しそうにされていたので、人柄の良さや職場の雰囲気の温かさを感じ、私も一緒に働いてみたいなと思いました。

Q３.千葉大学に就職して「良かった」と思うことは何ですか？

協力体制が整っているため相談しやすく、なによりも親切で楽しい方々と仕事が出来ていることです。採用当初だけでなく、仕事で分からないことがある時や行き詰ってしまった際に、上司や先輩方へ気軽に相談ができ、それに対して丁寧に教えていただけるので、本当に恵まれている環境だなと感じています。また休みも取りやすい雰囲気なので、ワークライフバランスも安定しています。

Q４. お昼休みはどのように過ごされていますか？

課内で昼食を取った後にグラウンドへ向かい、キャンパス内から集った教職員の方たちとミニサッカーをしています。皆さん和気あいあいとされているので、サッカー初心者の私でも楽しく参加しています。汗を流してリフレッシュできるほか、普段の業務では関わりのない方たちと交流ができるのも楽しいです。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員の仕事は学務対応に限らず、様々な業務があり、その中でも千葉大学では多くのことに挑戦し、経験ができる場所だと思います。そして、どの仕事も組織として協力し合い、日本の教育や研究を最先端で支える重要なものです。色々な業務を通してやりがいを感じたい方、人と関わり協力し合うことが好きな方には、おすすめの職場だと思います。

財務系

氏名　Y・H

所属　医学部附属病院管理課医薬契約係

職名　一般職員

令和４年４月入職　　新卒採用（法人試験）
（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール
8：30　業務開始、メールチェック
9：30　検査試薬の発注、請求処理
12：00　お昼休み
13：00　医療材料検討会の準備
13：30　検討会出席
15：00　検討会の議事録案の作成
16：30　検査試薬の発注
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

患者さんの治療に必要となる検査試薬や医療材料の契約と購入をしています。新型コロナウイルス感染症拡大の最中に入職したので、平常時の物品に加え、コロナ対策用の抗原検査キットや消毒薬の管理も行いました。他には経費削減のために価格交渉をしたり、医薬品や医療材料を選定する会議の準備と運営を行ったりしています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

千葉大学には研究・社会活動・留学・サークル活動など学生がやりたいことに何でも挑戦できる環境があり、それを教員や職員が支えています。私は千葉大学の法政経学部出身ですが、学生のときに地域連携や留学を経験し、その際教職員の方にとてもお世話になりました。次は私が何かに挑戦する学生を支援したいと思い千葉大学を志望しました。

Q３.附属病院で働く面白さは何ですか？

事務職員も最先端の医療や病院運営に携われることです。入職するまで医療の知識は全くありませんでしたが、医師、看護師、技師など医療系の職種の方と関わりながら仕事を進めるうちに少しずつ知識が身に付いてきました。自分の仕事が患者さんの治療に役立っていることを実感できるのは附属病院ならではの面白さであり、とてもやりがいを感じます。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

同期とお花見に行ったり花火をしたりしました。他には友人とイベント毎にディズニーに通ったり、電車に乗るのが好きなので日帰りで日光や小田原へ行ったりしました。業務終了後や休日に楽しみな予定を入れることで、仕事のモチベーションも上がります。また有給も取得しやすいので、夏季休暇や年末年始は実家に帰ってのんびり過ごしています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

就職活動中は「自分は何がしたいか？」「自分には何が向いているか？」ととても悩みましたが、実際に働いてみると学生のときには想像がつかなかった仕事や、やってみると案外楽しく自分に合う仕事が多くありました。千葉大学は複数のキャンパスと附属病院を持つ総合大学であり職員の仕事も多岐に渡るので、きっと自分に合う仕事が見つかると思います。皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています！

学生支援系

氏名　Ｙ・Ｏ

所属　学務部学生支援課企画管理係

職名　一般職員

令和３年４月入職　　中途採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　学生周知事項の校正・アップロード
12：00　お昼休み
13：00　他課からの照会・調査対応
15：00　窓口対応
16：00　会議の準備（開催日の調整・資料作成等）
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

主に各部署からの依頼の対応（照会・調査等）、学生支援に関する会議の運営、文部科学省等の外部機関からの通知を学生向けに校正・周知する等、学生・教員・職員すべてに関わる業務に従事しております。他にも窓口対応や、課内の連絡調整から情報の取りまとめを行う等、業務は様々です。今年の４月に異動したばかりですが、上司や周りの方々のサポートのおかげで、日々の業務をこなせております。

Q２. 今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

前部署の入試課で、大学入学共通テストの主担当となったことです。入職して２年目ということもあり、専門知識がほとんど無い中で大きな試験を担当することは非常に不安でしたが、上司との相談や確認を頻繁に行い、入念な準備をすることで無事に実施することができました。準備から実施において入試課の方々をはじめ、多くの職員や教員の方々に協力いただき、チームのような一体感を覚えたことが印象に残っています。

Q３.千葉大学に就職して「良かった」と思うことは何ですか？

働く環境と人です。時期にもよりますが比較的有休も取りやすく、残業も少ない方なので、ワーク・ライフ・バランスが充実している環境だと思います。また職員同士、近過ぎず遠過ぎずといった程良い距離感があり、過度な上下関係もありません。私はよく、親しい同僚や先輩職員と飲みに行くのですが、参加の強制などはまったくなく、毎回和やかな雰囲気で非常に楽しく過ごしています。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

趣味がラグビーで、都内の社会人チームに所属しているため、休日は練習に参加したり、自宅近くのジムでトレーニングをして過ごしています。業務終了後にそのままジムに行くこともあります。比較的デスクワークが多いので、運動をすることで心身ともにリフレッシュできますし、業務で力仕事がある時はちょっとばかり活躍できて良い気分になれます。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

働く環境は非常に大切です。給与、福利厚生、業種、自分の時間等、一人ひとり重視するものは違いますので、今一度ご自身が何を大切にしているかを考えてみてください。そういった意味で、千葉大学はバランスのとれた職場だと思います。私以外の「先輩職員の声」も参考にしていただき、興味を持っていただけた方は、ぜひ千葉大学で一緒に働きましょう。私達の声が、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

学生支援系

氏名　K・A

所属　亥鼻地区学務課医学部学務係

職名　一般職員

令和元年11月入職　　中途採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　授業準備等
12：00　お昼休み、ランニング
13：00　授業同伴・先生の補助等
16：00　会議出席
17：00　会議の議事録案の作成
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

医学部での日々の授業や試験の準備が私の主な仕事です。その中でも、臨床入門や臨床実習という「医師を目指す学生が病院や施設で患者と対面し診察や治療等を学ぶ授業」の円滑な運営の為、教員等と授業内容を検討し忙しく過ごしています。また、医学部生の海外留学及び海外からの留学生の受入業務担当も兼務しおり、日々様々な学生の学修環境の整備と充実化に取り組んでいます。

Q２.これまでのキャリアを教えてください。

前職は公務員でしたが、採用後は留学生課に配置となり海外からの留学生の受入関係業務を約2年半行いました。留学生は様々な点で不安や悩みを抱えている場合が多く、例えば奨学金を一緒に探してあげたり、区役所での手続きに同伴したりと日々の生活に密着する仕事が多く、時にはトラブルを起こした留学生の対応など。大変ながらも思い出深くやりがいのある仕事をさせて頂きました。

Q３.スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

私の場合は研修の積極的参加と活用に勤しみました。私自身中途採用の職員ということで、新卒採用の同年代と比べ数年間の経験の差があり不安でしたが、千葉大学では各種研修が年間を通して行われており、意欲さえあれば日々の業務に役立つ専門知識を学修できる環境にあります。私も教育・学修支援専門職員成コースに約１年間参加させて頂き、非常に有意義な時間を過ごすができました。

Q４.お昼休みや業務終了後はどのように過ごされていますか？

本学では（少なくとも私が見てきた中では）過度な残業や休日出勤（サービス出勤）は基本的に無い為、余暇の時間は十分に確保できます。私の場合は、平日のお昼休みは大学の周りをランニングしたり（お昼休みは運動して過ごす職員さんもそれなりに多いです）、退勤後は友人との食事や買い物、時には一人で大学の図書館に立ち寄って読書したり、というように自由に過ごしています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

私は千葉大学職員となり３年が過ぎましたが今でも転職して良かったと思っています。それは前職が過酷だったという事もそうですが、何より学生や教員の為に働くことができそしてそれを実感できる仕事だから、という理由が私の中で大きなウェイトを占めています。このように千葉大学は「搾取されないやりがい」を持ち働くことができる職場ですので、ぜひ皆様の入職をお待ちしています！

研究支援系

氏名　H・A

所属　研究推進部産学連携課産学連携係

職名　一般職員

平成２８年４月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：00　決裁書類の確認、データ入力作業
11：00　URAと打ち合わせ
12：00　お昼休み
14：00　研究契約関係の打ち合わせ
15：30　照会・問い合わせへの対応
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

私が現在所属している産学連携課は、共同研究・受託研究・奨学寄附金等の受入れや知的財産の管理などの業務を担っています。私は主に共同研究・受託研究等の契約手続きに関する各部局担当者からの相談・問い合わせへの対応や、金額・件数等のデータの集計等を行っています。

Q２.今まで担当した業務で印象に残っている業務は何ですか？

これまでの経験で一番印象深いのは、企画総務部総務課（当時）時代に卒業式・入学式の準備・運営を担当したことです。式当日のスケジュールや内容、学生・学内関係者・来賓との連絡調整、当日の運営など苦労も多かったですが、無事に式を挙行できた時や学生さんの晴れやかな表情を見た時には大きな達成感を感じたことを覚えています。

Q３.今の仕事でのやりがいは何ですか？

千葉大学が誇る優秀な研究者と企業等が連携して新たな研究成果やイノベーションを生み出す過程に携われることに大きなやりがいを感じています。
また、産学連携課の業務にはURAや弁理士など事務職員以外の方々との連携が重要であり、そういった方々とアンダーワンルーフで常にコミュニケーションが取れる体制になっているため、大学の事務職員とは異なる視点や考え方に触れながら仕事ができることも魅力に感じています。

Q４.仕事と家庭の両立で心掛けていることは何ですか？

オンとオフでしっかりと頭を切り替えることを心掛けています。忙しい時でも帰宅後や休日は頭を切り替えて家族との時間を満喫することで、自分自身のリフレッシュにもつながり、クリアな頭で仕事に臨めていると思います。また、娘が保育園に通い始め、妻も仕事復帰したため、保育園の送り迎えや家事などに追われる日々ですが、残業も少なく、休暇も気軽に取らせてもらえるので、忙しい中でも家族との時間を作ることができています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員という仕事には学務系の仕事だけでなく、研究推進・産学連携・企画・広報など多様な業務があり、様々な角度から大学運営に携わることができます。日本の教育・研究をリードする千葉大学で働くことは大きなやりがいを感じられると思います。千葉大学のこれからの担う皆さんと一緒に働ける日を、心待ちにしています！

研究支援系

氏名　Y・T

所属　亥鼻地区事務部　研究推進課研究推進係

職名　一般職員

令和４年４月入職　　新卒（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　研究者の先生からの問い合わせ対応
12：00　お昼休み
13：00　研究計画調書の確認
15：00　科研費獲得状況データの作成
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

亥鼻地区における科学研究費助成事業（科研費）に関する業務を行っています。科研費は、研究活動に必要な資金を研究者に助成する仕組みの一つであり、審査を経て採択された研究に対し、研究費が助成されることになります。新たに科研費を獲得されたい研究者の先生へのサポートや、科研費を獲得された後に提出が必要となる書類の管理・手続き等を行っています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

国立大学法人等職員採用試験の一次試験合格後、二次試験に向けた千葉大学の説明会に参加した際に、千葉大学の理念である「つねに、より高きものをめざして」といった言葉を知りました。学生や教員の努力だけでなく、それらをサポートする職員も含めて一丸となり、より良い大学づくりを目指していくような環境に身を置きたいと思ったのがきっかけです。

Q３.入職前の大学職員のイメージと入職後に感じるギャップはありますか？

大学職員といえば学生対応のイメージが一番強かったですが、現在の所属先では学生と関わることはほとんどなく、大学職員の職務の幅の広さを感じました。また、職場の雰囲気に関しても、淡々と事務作業を行うような堅苦しいイメージがありましたが、同僚の方とコミュニケーションを取りながら仕事を進めたり、談笑する時間があったりと、リラックスしながら業務を進めることができています。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

休日出勤はほぼ全くないため、仕事のことを忘れて休日を過ごしています。私の趣味はeスポーツの試合観戦なので、試合やイベントに足を運んだり、配信試合を見たりすることがほとんどです。平日にも休暇を取りやすい環境が整っているので、休暇を組み合わせて遠方のイベントに参加することもあります。ワークライフバランスはとても充実していると感じています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

私自身は別の大学出身ではありますが、千葉大学の理念に惹かれて志望し、現在勤務しています。研究推進の業務に携わる中で、研究者の先生の熱意を感じながら、千葉大学の更なる研究の発展をサポートすることができていると感じています。一方で、自分の趣味を満喫できるような環境も整っており、とても働きやすい職場だと思います。もしこれを読んでいる方と一緒に働けることがあれば嬉しく思います！

国際交流系

氏名　N・M

所属　学務部留学生課留学生企画係

職名　一般職員

令和３年４月入職　　中途採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：30　先生からの問い合わせ対応
10：30　国際教育センターのPCセットアップ
12：00　お昼休み
14：00　日本語授業に関する打合せ
16：00　チューター謝金支払業務
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

留学生課と国際教育センターの庶務・会計業務、留学生向け日本語科目の運営等を担当しています。企画係という性質上、業務内容は多岐に渡ります。留学生のためのバスツアーの計画をしたかと思えば、科目登録のためのシステム開発の打ち合わせに参加するなど、日々幅広い業務に関わっています。

Q２. 転職先として千葉大学を選択した決め手はなんですか？

グローバル人材育成に向けた大きなチャレンジをしている母校に、一員といて貢献したいという思いがありました。前職も教育業界でしたが、千葉大学の変化・挑戦のニュースを耳にする機会が増え、「千葉大学は変わったんだなぁ」と感じていました。変化の中にいるのは、容易ではないですが、自分の経験を何らかの形で活かすことができれば、とてもやりがいを感じることができるだろうと思いました。

Q３. スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

千葉大学では、多岐に渡る研修が用意されており、自分がやりたいと思えば、それにどんどん参加できる環境が用意されていると感じます。私は、国際関係の部署で活躍する機会があればいいなと思っているので、語学関係の研修には、いつも参加するよう心がけています。このような機会があるのは、大変ありがたいと感じています。

Q４. 仕事と家庭の両立で心がけていることは何ですか？

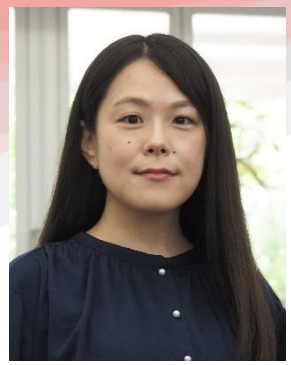
共働き家庭で、基本的に夜はいわゆる「ワンオペ」をしており、子供の保育園の迎えがあるため、定時退社をさせてもらっています。そのため、限られた時間内で業務を終わらせられるよう、集中し効率的に業務に取り組むよう心かけています。それも職場の周りの方のサポートがあってこそなので、感謝がつきません。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学職員の魅力（大変な点でもありますが）は、多岐にわたる業務を経験できる点だと思います。自分が向いていないと思い込んでいた仕事が、やってみると面白みを感じたりと、新たな発見があります。部署や係が変われば、業務が全く変わって、転職したように感じることもあるかもしれません。どの仕事をしていても、「よりよい教育・研究のため」という大きな前提があるのも、良い点だと思います。

～ 図書系職員 ～

図書系



氏名　Ｙ・Ｋ

所属　附属図書館学術コンテンツ課学術コンテンツグループ

職名　専門職員／グループリーダー

令和4年4月入職　　中途採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、開館準備作業
9：00　メールチェック、
　　利用者や設備管理等の対応
10：00　研究支援サービス資料作成
12：00　お昼休み
13：00　教員と研究支援サービス打ち合わせ
14：40　カウンター業務
16：45　利用者データ登録
17：30　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

附属図書館本館において、利用者サービスに関する業務（閲覧、相互利用）を担当しており、グループリーダーとしてグループ内外の調整も行っています。加えて、アカデミック・リンク・センターでのハイブリッド化する学習環境の整備及び教育・研究支援サービスの検討プロジェクトに携わっています。

Q２.これまでのキャリアを教えてください。

研究・教育支援や学術情報流通に貢献することを志し、高校教員、コンサルティング会社（図書館、産学連携担当）、日本原子力研究開発機構（図書館）を経て本学に着任しました。原子力機構において研究データポリシーと規程の策定を行った際、研究職ほか多くの方と議論を積み重ねてかたちにするという経験をしました。そのため、今もコミュニケーションと信頼を意識して業務しています。

Q３.他機関での勤務経験は、本学での業務においてどのように生かせていますか？

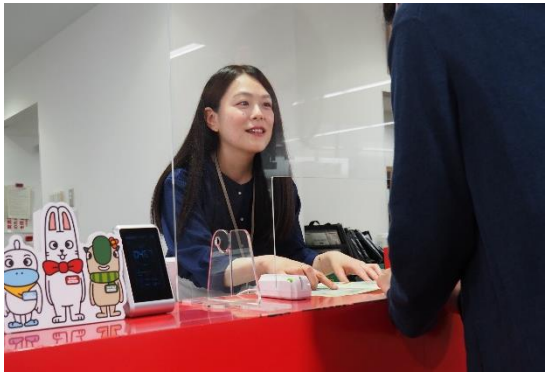
運用ルールは異なっていても、法令や政策に基づいて業務・思考する点は通底します。また、例えば知的財産について勉強したことは研究支援サービス検討の際に、というように、図書館以外の経験も活かせました。業務内容は幅広いので、これまでに得た知識や考え方を応用し得ると思います。

Q４.千葉大学附属図書館の魅力は何ですか？

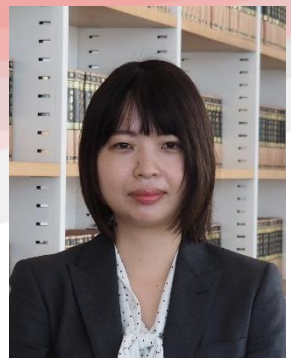
いわゆる図書館業務を着実に行うだけでなく、皆で様々な取り組みができる点です。アカデミック・リンク・センターのプロジェクトは、職制にとらわれず、学生や教員にとって良いサービスは何かを考えて実現する体制がとられています。大変なときもありますが、常に学び考え続ける機会と環境を得られることはとても貴重だと感じます。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

研究・教育や学習の進展に貢献できるという点は、大学職員としてのやりがいのひとつだと思います。政策や学術情報流通の変容を受けて大学や図書館の業務が変化するなか、千葉大学は学生や教職員の方々のためになるよう、皆で考えていける職場だと感じます。みなさんと一緒に働けるのを心待ちにしています。



図書系



氏名　Ｓ・Ｉ

所属　附属図書館利用支援企画課利用支援企画グループ

職名　図書系職員

平成25年4月入職　　新卒（法人試験）

（令和５年６月現在）

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

海外出版社が発行する雑誌の契約を担当しており、雑誌購読費用の試算、出版社との連絡調整、契約書の確認等の仕事をしています。他大学の職員と一緒に出版社との交渉を行うこともあります。また、アカデミック・リンク・センターの教員やスチューデント・アシスタントと協働し、学生向け学習相談デスクの開設やセミナー実施等の学習支援業務にも取り組んでいます。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

採用説明会に参加したとき、1年先に採用された先輩が「ここは従来の静かな図書館のイメージとは違う、おもしろいことがたくさんできる職場だ」と話していたのがとても印象に残りました。説明会でその先輩に図書館内を案内していただき、職員の方々の仕事に対する前向きな姿勢や、アクティブラーニングスペースと静寂空間を使い分けながら思い思いに学習する学生達を見て、「自分もここで働きたい」と思うようになりました。

Q３.スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

千葉大学での仕事を5年間経験した後、仕事に対する自分の視野を広げ、また学習・研究支援についてより深く学ぶために、希望を出して他大学へ3年間出向し、出向中に図書館・情報学分野を専門とする社会人大学院の修士課程を修了しました。他大学への出向や学位取得の希望を快く受け入れ、応援してくださった職場の環境に感謝し、今後も自己研鑽を続けたいと考えています。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

休日は家族や友人と一緒に楽器を弾いたり、地域の音楽団体の演奏に参加したりしています。基本的に土日に出勤することはないため、定期的に参加が必要な趣味の活動も続けやすいです。平日夜に、都内で上演される舞台の観劇や、コンサート鑑賞に行くこともあります。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学には様々な分野の研究をされている教員や学生がいて、自分の仕事の一つひとつがその研究や教育を支えていると思うと、やりがいを感じます。皆さんが自分の得意分野を活かし、やりがいを感じられるような仕事を千葉大学で見つけられることを願っています。

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：00　電子ジャーナルの契約条件、契約書確認
11：00　次年度雑誌購読費用の試算
12：00　お昼休み
13：00　調べもの相談デスクで相談者の対応
15：00　出版社とのオンライン打ち合わせ
16：30　次年度雑誌購読についての会議資料作成
17：15　業務終了

図書系

氏名　Ａ・Ｔ

所属　附属図書館利用支援企画課利用支援企画グループ

職名　図書系職員

平成27年4月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

千葉大発の研究成果をネット上で公開する基盤「機関リポジトリ」の運営が主な業務で、成果物の公開を希望する教職員への対応や、登録用データの作成などを行っています。他にも、論文などの英語執筆について専門家に相談できる「英語相談デスク」の運営など様々な業務に関わっています。学外の委員会にも所属しており、他大学の方たちと協力して、大学図書館界全体に関わる課題にも取り組んでいます。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

大学の司書課程の授業で、他の大学図書館とは大きく異なる取り組みを行っていると聞いたことがきっかけで、千葉大学の附属図書館に興味を持つようになりました。その後の説明会や職場訪問を通じて、新しいことに挑戦できる職場の雰囲気の良さと、図書館を学習に活用している学生の皆さんの活気を感じたことから、ここで働きたいと強く思うようになりました。

Q３.附属図書館で働く面白さは何ですか？

附属図書館では、上記の「英語相談デスク」のような新しくユニークな取り組みが毎年のように生まれています。若手のうちから様々な業務を担当し、企画立案や他部局との交渉から記事のライティングまで、多方面の経験を積めるのは大変魅力的だと思います。また、機関リポジトリの業務を通じて学内の先生方のユニークな研究成果に触れることができ、個人的にも勉強になることが多いです。

Q４.スキルアップのために取り組んできたことは何ですか？

学内の研修はもちろんのこと、学外の団体・組織などが主催する研修にも参加しやすい環境が整っているので、興味があるものには積極的に参加するようにしています。学外研修では、業務に関する専門的な知識の習得に加え、他大学の図書館員とのネットワークも作れるのが魅力です。また日頃から、高等教育行政や図書館行政、関連する法改正などについてのニュースをチェックするよう心がけています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

大学を職場にすることの魅力の一つは、自分の仕事が多くの学生や教員の方々の教育・研究の支えになるということです。これを読んでいるみなさんも、事務系、技術系、そして図書系と、試験区分がそれぞれ異なるとはいえ、大学をより良い場所にするという目標はどの試験区分でも共通しています。みなさんと同じ目標を追いながら共に働ける日が来ることを楽しみにしています。

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、メールチェック
9：00　英語相談デスクの相談原稿を担当講師に送信
10：00　リポジトリ登録用データの編集
12：00　お昼休み
13：00　会議資料の作成
15：00　リポジトリ登録用データのチェック・公開作業
16：00　他大学の図書館員とオンライン打ち合わせ
17：15　業務終了

図書系

氏名　Ｙ・Ｋ

所属　附属図書館利用支援企画課利用支援企画グループ

職名　図書系職員

平成28年4月入職　　新卒採用（法人試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　メールチェック
9：30　図書館システム関係対応
10：00　ガイダンス準備
10：30　図書館ガイダンス(文献検索など)
12：00　お昼休み
13：00　研究支援ポータルページ作成
15：30　研究支援ポータル打合わせ
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

図書館業務としては、文献の検索方法などについて案内する業務や、図書館の業務に必要不可欠な「図書館システム」の管理を担当しています。また、アカデミック・リンク・センターの教員と協同して行うプロジェクト業務というものがあるのですが、そこでは「オンライン学習支援ポータルEYeL!」や「研究支援ポータルEYRJ!」というWebサイトの構築・運用を行っています。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

私は千葉大学の学生だったのですが、もともと図書館や大学で働きたいという思いがあったわけではありません。しかし、日々千葉大の図書館を利用したり、図書館関係の授業を受講したりしていくなかで、千葉大学附属図書館の先進的な取り組み等に触れ、次第に「この図書館で働きたい」という思いを強く持つようになりました。それが志望のきっかけです。

Q３.今の仕事のやりがいはなんですか？

文献検索の方法を案内したり、Webサイトを構築していったりすることに共通する部分として、「他者に伝える」ということがあります。いかに、学生や教職員といった図書館ユーザーの顕在・潜在的ニーズをくみとって、わかりやすく伝えられるかということを模索している瞬間が最もやりがいを感じられます。

Q４.業務終了後や休日はどのように過ごされていますか？

もともとどちらかというとインドア派なので家で過ごしています。家でもPCの前にいることが多く、趣味の動画制作や最近はイラストの練習をはじめました。また、大学時代の友人と通話をしながらオンラインゲームなどをして楽しんでいます。業務で趣味の時間を圧迫されることもあまりなく、有意義に余暇を過ごすことができています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

図書館の在り方やそれに伴う職員の業務は、日々変化していくものだと思います。そのなかで、千葉大学附属図書館も新しい取り組みなどを日々模索しています。なかには、他の大学図書館ではやっていないようなことを担当することもあるかもしれません。そういった業務への挑戦や新しいことへのワクワク感が味わえる職場だと思います。みなさんと働ける日を楽しみにしています。

～ 技術職員 ～

施設系

氏名　Ｙ・Ｓ

所属　施設環境部施設企画課施設企画係

職名　技術職員

令和３年４月入職　　新卒採用（独自試験）

（令和５年６月現在）

ある1日のスケジュール

8：30　業務開始、定例会議準備
9：00　キャンパス整備企画室定例会議
10：00　業者とのオンライン打合せ
11：00　別業者とのオンライン打合せ
12：00　お昼休み
13：00　施設実態報告の作成
17：00　業務スケジュールの確認
17：15　業務終了

Q1. 現在どのような仕事をしていますか？

千葉大学全キャンパスにおける「企画・計画業務」を行っています。「企画・計画業務」では、既存施設の状況や、キャンパスマスタープランに基づいた施設整備について調査し、内容を文部科学省へ報告、さらに施設整備事業の予算要求に係る資料作成等の業務を行っております。

Q２.千葉大学を志望した理由は何ですか？

私は学生時代に建築を学んでおり、まちづくりや規模の大きな事業に関わったり、設計、施工とそれぞれの分野に進むのではなく、企画から設計・施工、管理まで広く関われる職に就きたいと思っておりました。就職活動を進める中で、千葉大学の施設マネジメントに関われる職業と出会い、キャンパスマスタープランという将来構想に基づいてキャンパスづくりを行っている業務内容に惹かれ、志望しました。

Q３.千葉大学の魅力は何ですか？

千葉大学で働く魅力は、職員と教員の近さにあると思います。施設環境部では、キャンパス整備企画室の教員と定例会議の場を用いて、情報の共有を基本的に毎週行っています。働きながら各分野の専門家である教員の知見や知識を得られる職場というのは、なかなかに珍しく、自分のスキルアップにおいて良い経験をさせていただいていると思い、日々業務を行っています。

Q４.仕事をする上で大切にしていることはありますか？

仕事をする上で大切にしていることは、文部科学省からの依頼や、学外、学内からの提出依頼が多く、抜け・漏れを防ぐために業務スケジュールを立てて、随時上司と進捗の確認を行い、着実に業務を行えるよう努めています。また、分からないことや難しいことは抱え込まず上司へ相談し、解決の糸口をしっかりと見つけられるよう心がけています。

◆ 千葉大学職員を目指す方へのメッセージ ◆

千葉大学の技術職員として建設に関わることで、他ではできない貴重な体験や経験を、たくさん身に着けていると実感しています。時には業務に追われ、忙しいこともありますが、日々変化する業務としっかり向き合って働くことができる環境が千葉大学にはあるので、確実に自身の成長に繋がる職場だと思っています。この先みなさんと同じ環境で働けることを心よりお待ちしています。